

## 別表第1

## 1 システム科学技術研究科

## (1) 博士前期課程

## (i) 機械知能システム学専攻(平成31年度入学者)

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択 区分・単位 数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目	プレゼンテーション			2		2				2	選択科目 8単位以上
	実践英語A			2	2					2	
	英語プレゼンテーションA			2		2				2	
	風土・文化構造論※			2	2					2	
	科学技術と倫理※			2	2					2	
	感性情報と環境の心理※			2	2					2	
	地域社会と家族※			2		2				2	
	生体情報と運動の生理※			2	2					2	
	フィールドワークA(実践科目)			2	2	2	2	2		2	
	フィールドワークB(実践科目)			2		2	2	2		2	
	知的所有権論A		工業	2	2					2	
	標準化論A		工業	2		2				2	
	信頼性工学A		工業	2	2					2	
	失敗工学A		工業	2		2				2	
	インターンシップ			2	2						
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									8	合計 8単位	
専門科目	材料構造系	固体力学	工業	2	2					2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		先端材料科学特論	工業	2	2					2	
		機械構成論	工業	2	2					2	
		超精密加工工学	工業	2		2				2	
		応用有限要素解析	工業	2		2				2	
	熱・流体系	弾性波動論	工業	2		2				2	
		熱工学特論	工業	2	2					2	
		流体力学特論	工業	2	2					2	
		プラズマ工学	工業	2		2				2	
		計算力学特論	工業	2	2					2	
		エネルギーシステム学特論	工業	2		2				2	
	生体知能系	燃焼工学	工業	2		2				2	
		制御工学特論	工業	2	2					2	
		ロボット工学特論	工業	2	2					2	
		機械知能学特論	工業	2		2				2	
		三次元CAD運用論	工業	2	2					2	
		知能化機械設計論	工業	2		2				2	
		コンピュータビジョン特論	工業	2		2				2	
	その他	バイオエンジニアリング特論	工業	2		2				2	
		メカトロニクス特論	工業	2		2				2	
		高度数値シミュレーション学	工業	2	2					2	
	セミナー・ 研究	機械知能システム学専門セミナー	工業	4	4	4			4		
機械知能システム学特別研究			6					6			
修了に必要な専門科目の単位数									10	12	合計 22単位
修了に必要な単位数の合計									10	20	総合計 30単位

## 備考 1 修了要件;

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。

フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。

専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。

インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

## 2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

## (ii) 電子情報システム学専攻(平成31年度入学者)

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択 区分・単 位数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目		プレゼンテーション		2		2				2	選択科目 8単位以上
		実践英語A		2	2					2	
		英語プレゼンテーションA		2		2				2	
		風土・文化構造論※		2	2					2	
		科学技術と倫理※		2	2					2	
		感性情報と環境の心理※		2	2					2	
		地域社会と家族※		2		2				2	
		生体情報と運動の生理※		2	2					2	
		フィールドワークA(実践科目)		2	2	2	2	2		2	
		フィールドワークB(実践科目)		2		2	2	2		2	
		知的所有権論A	工業	2	2					2	
		標準化論A	工業	2		2				2	
		信頼性工学A	工業	2	2					2	
		失敗工学A	工業	2		2				2	
	インターンシップ		2	2							
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									8	合計 8単位	
専門科目	電子 システム系	電磁理論特論	工業	2	2					2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		地球電磁環境論	工業	2	2					2	
		環境電磁工学	工業	2	2					2	
		通信システム特論	工業	2		2				2	
		数理最適化特論		2	2					2	
		システム制御工学特論	工業	2	2					2	
		エネルギー変換工学特論	工業	2		2				2	
	計測学特論	工業	2	2					2		
	情報 システム系	デジタル信号処理特論	工業	2	2					2	
		音響情報工学	工業	2	2					2	
		音信号処理特論	工業	2		2				2	
		画像情報学特論	工業	2	2					2	
		パターン認識特論		2		2				2	
		数値解析学特論	工業	2		2				2	
		情報ネットワーク特論	工業	2		2				2	
	情報数理論	工業	2	2					2		
	自然言語処理	工業	2	2					2		
	電子デバイス システム系	固体物性工学特論	工業	2	2					2	
		半導体材料・プロセス工学	工業	2		2				2	
		光機能デバイス工学	工業	2	2					2	
		電子デバイス工学特論	工業	2		2				2	
	セミナー・ 研究	電子情報システム学専門セミナー	工業	4	4	4				4	
電子情報システム学特別研究			6						6		
修了に必要な専門科目の単位数									10	12	合計 22単位
修了に必要な単位数の合計									10	20	総合計 30単位

## 備考 1 修了要件;

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。

フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。

専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。

インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

## 2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

(iii) 建築環境システム学専攻(平成31年度入学者)

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択 区分・単位 数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目		プレゼンテーション		2		2				2	選択科目 8単位以上
		実践英語A		2	2					2	
		英語プレゼンテーションA		2		2				2	
		風土・文化構造論※		2	2					2	
		科学技術と倫理※		2	2					2	
		感性情報と環境の心理※		2	2					2	
		地域社会と家族※		2		2				2	
		生体情報と運動の生理※		2	2					2	
		フィールドワークA(実践科目)		2	2	2	2	2		2	
		フィールドワークB(実践科目)		2		2	2	2		2	
		知的所有権論A	工業	2	2					2	
		標準化論A	工業	2		2				2	
		信頼性工学A	工業	2	2					2	
		失敗工学A	工業	2		2				2	
	インターンシップ		2	2							
	修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数								8	合計 8単位	
専門科目	構造系	地盤工学	工業	2	2					2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		基礎設計論	工業	2		2				2	
		塑性設計学	工業	2	2					2	
		大架構設計論	工業	2		2				2	
		建築振動論		2		2				2	
		先端材料学	工業	2	2					2	
		木質構造設計論	工業	2		2				2	
		都市防災学	工業	2	2					2	
		都市・建築設計(演習)A	工業	2	2	2	2	2		2	
		都市・建築設計(演習)B		2		2	2	2		2	
	都市・建築設計(演習)C		2			2	2		2		
	計画系	都市計画学	工業	2	2					2	
		都市・建築設計論	工業	2		2				2	
		視環境・色彩計画学	工業	2	2					2	
		環境設計論	工業	2		2				2	
		都市環境論	工業	2		2				2	
		都市・建築史論	工業	2	2					2	
		都市・建築設計(演習)A	工業	(2)	2	2	2	2		(2)	
		都市・建築設計(演習)B		(2)		2	2	2		(2)	
	都市・建築設計(演習)C		(2)			2	2		(2)		
	環境系	視環境・色彩計画学	工業	(2)	2					(2)	
		環境設計論	工業	(2)		2				(2)	
		都市環境論	工業	(2)		2				(2)	
		都市・建築史論	工業	(2)	2					(2)	
		都市防災学	工業	(2)	2					(2)	
		都市・建築設計(演習)A	工業	(2)	2	2	2	2		(2)	
		都市・建築設計(演習)B		(2)		2	2	2		(2)	
	都市・建築設計(演習)C		(2)			2	2		(2)		
	セミナー・ 研究	建築インターンシップ研修A		2	2	2	2	2		2	
		建築インターンシップ研修B		2	2	2	2	2		2	
		建築プロジェクト実習		2		2				2	
建築環境システム学専門セミナー		工業	4	4	4			4			
建築環境システム学特別研究			6					6			
	修了に必要な専門科目の単位数								10	12	合計 22単位
	修了に必要な単位数の合計								10	20	総合計 30単位

備考 1 修了要件;

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。

フィールドワークA, B(実践科目)、都市・建築設計(演習)A, B, C、建築インターンシップ研修A, Bについては、A(B)を修得しなければ B(C)を履修できない。

都市・建築設計(演習)A, B, Cについては、同一セメスターでの重複履修を認めない。

建築インターンシップ研修A, Bについては、同一セメスターでの重複履修を認める。

専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。

インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

3 ( )内数字は再掲。

## (iv) 経営システム工学専攻(平成31年度入学者)

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択 区分・単 位数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目		プレゼンテーション		2		2				2	選択科目 8単位以上
		実践英語A		2	2					2	
		英語プレゼンテーションA		2		2				2	
		風土・文化構造論※		2	2					2	
		科学技術と倫理※		2	2					2	
		感性情報と環境の心理※		2	2					2	
		地域社会と家族※		2		2				2	
		生体情報と運動の生理※		2	2					2	
		フィールドワークA(実践科目)		2	2	2	2	2		2	
		フィールドワークB(実践科目)		2		2	2	2		2	
		知的所有権論A	工業	2	2					2	
		標準化論A	工業	2		2				2	
		信頼性工学A	工業	2	2					2	
		失敗工学A	工業	2		2				2	
	インターンシップ		2	2							
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									8	合計 8単位	
専門科目	社会情報 管理系	会計システム論	工業	2		2				2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		応用情報処理特論	工業	2	2					2	
	経営情報システム特論	経営情報システム特論	工業	2		2				2	
		応用確率統計特論	工業	2	2					2	
		経営数理解析特論	工業	2	2					2	
		経営学特論		2		2				2	
		社会経済学特論	工業	2		2				2	
		産業環境 管理系	環境型生産管理論	工業	2		2				
	環境リスク管理技術特論		工業	2	2					2	
	製品技術システム特論		工業	2		2				2	
	分析化学特論			2	2					2	
	実践・セミナー・ 研究	現役社長の講話 I		1		1				1	
		経営改善実践		2	2	2	2	2		2	
		経営システム工学専門セミナー	工業	4	4	4			4		
経営システム工学特別研究			6					6			
修了に必要な専門科目の単位数									10	12	合計 22単位
修了に必要な単位数の合計									10	20	総合計 30単位

## 備考 1 修了要件;

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。

フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。

専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。

インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

## 2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

## (v) 共同ライフサイクルデザイン工学専攻(平成31年度入学者)

種類	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択 区分・単位 数		備考
				1年次		2年次		必修	選択	
				1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎・ 倫理関係 科目	地域産業アントレプレナー論		1		1				1	秋田大学
	プレゼンテーション技法		1	1					1	秋田大学
	理工学英語 I		1	1					1	秋田大学
	理工学英語 II		1		1				1	秋田大学
	Current Topics in Science and Engineering		1		1				1	秋田大学
	インターンシップ I		1	1	1	1	1		1	秋田大学
	インターンシップ II		2	2	2	2	2		2	秋田大学
	科学技術者倫理特論		2	1					2	秋田大学
	宇宙科学特論		2	2					2	秋田大学
	地震防災特論		2		2				2	秋田大学
	地域防災学特論		2	2					2	秋田大学
	古地震学特論		2		2				2	秋田大学
	地球資源成因論		1	1					1	秋田大学
	資源分離精製論		1	1	1				1	秋田大学
	資源化学・資源利用工学		1	1	1				1	秋田大学
	リサイクルシステム設計論		1	1	1				1	秋田大学
	自主プロジェクト I		1	1	1				1	秋田大学
	自主プロジェクト II		2	2	2				2	秋田大学
	マーケティングとブランディング		1	1					1	秋田大学
	ベンチャー起業論		1		1				1	秋田大学
	地域資源と活性化		1	1					1	秋田大学
	リスクマネジメント		1	1					1	秋田大学
	情報技術とイノベーション		1	1					1	秋田大学
	財務・金融工学		1	1	1				1	秋田大学
	知的財産論		1		1				1	秋田大学
	経営戦略論		1	1					1	秋田大学
	消費者行動と心理		1	1					1	秋田大学
	特許情報活用論		1	1					1	秋田大学
	理工学特論 I		1	1					1	秋田大学
	理工学特論 II		1		1				1	秋田大学
	理工学デザイン		1		1				1	秋田大学
	生命医理工学特論		2	2					2	秋田大学
	医理工連携実践論		1	1					1	秋田大学
	プレゼンテーション		2		2				2	秋田県立大学
	実践英語A		2	2					2	秋田県立大学
	英語プレゼンテーションA		2		2				2	秋田県立大学
	風土・文化構造論※		2	2					2	秋田県立大学
	科学技術と倫理※		2	2					2	秋田県立大学
	感性情報と環境の心理※		2	2					2	秋田県立大学
	地域社会と家族※		2		2				2	秋田県立大学
	生体情報と運動の生理※		2	2					2	秋田県立大学
	フィールドワークA(実践科目)		2	2	2	2	2		2	秋田県立大学
フィールドワークB(実践科目)		2		2	2	2		2	秋田県立大学	
知的所有権論A	工業	2	2					2	秋田県立大学	
標準化論A	工業	2		2				2	秋田県立大学	
信頼性工学A	工業	2	2					2	秋田県立大学	
失敗工学A	工業	2		2				2	秋田県立大学	
インターンシップ		2	2						秋田県立大学	



種類	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択区分・単位数		備考
				1年次		2年次		必修	選択	
				1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
専門科目	ライフサイクルデザイン工学基礎		2	2				2		秋田大学
	地域エネルギー特論		2		2				2	秋田大学
	熱流体エネルギー移動・変換工学	工業	2		2				2	秋田大学
	電磁エネルギー変換工学	工業	2	2					2	秋田大学
	電子ディスプレイ工学Ⅰ		1		1				1	秋田大学
	電子ディスプレイ工学Ⅱ		1		1				1	秋田大学
	マイクロ加工工学特論	工業	2	2					2	秋田大学
	先端機能材料工学特論	工業	2		2				2	秋田大学
	ソフトウェアシステム論		2	2					2	秋田大学
	地球環境分析科学		2		2				2	秋田大学
	高温物性学		2	2					2	秋田大学
	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅰ		1		1				1	秋田大学
	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅱ		1			1			1	秋田大学
	地域産業論	工業	2		2				2	秋田大学
	電子デバイス工学	工業	2		2				2	秋田大学
	通信工学特論Ⅰ		1	1					1	秋田大学
	通信工学特論Ⅱ		1	1					1	秋田大学
	電子制御機械工学特論	工業	2		2				2	秋田大学
	岩盤工学特論Ⅰ	工業	2		2				2	秋田大学
	資源経済学特論	工業	2	2					2	秋田大学
	都市システム計画特論	工業	2	2					2	秋田大学
	ライフサイクルデザイン工学セミナー		2	2	2			2		秋田県立大学
	ライフサイクルデザイン工学特別研究		8	8	8	8	8	8		秋田県立大学
	特別認定理工学		※						※	秋田大学
	ライフサイクルプランニング基礎	工業	2	2				2		秋田県立大学
	ライフサイクルアセスメント	工業	2	2					2	秋田県立大学
	プラズマ工学		2		2				2	秋田県立大学
	環境電磁工学	工業	2	2					2	秋田県立大学
	都市環境論	工業	2		2				2	秋田県立大学
	ライフサイクルデザイン製品技術論	工業	2		2				2	秋田県立大学
	環境型生産管理論	工業	2		2				2	秋田県立大学
	音環境工学	工業	2		2				2	秋田県立大学
	環境・エネルギー工学	工業	2	2					2	秋田県立大学
	修了に必要な単位数の合計								14	16

備考

修了要件;

必修科目14単位、選択科目16単位以上の合計30単位以上を修得すること。なお、選択科目の修得については次のとおりとする。

- ①主指導教員が在籍する大学院で開設する本専攻専門科目から4単位以上修得すること。
- ②副指導教員が在籍する大学院で開設する本専攻科目から8単位以上修得すること。ただし、そのうち6単位以上は専門科目から修得すること。
- ③両大学院の他専攻で修得した科目を4単位まで含めることができる。

- インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。
- フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。
- 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。
- 「特別認定理工学」は秋田大学大学院学則第14条に基づき修得した単位を8単位まで修了に必要な専門科目の単位に含めることができる。  
なお、当該コースが許可した場合は、本学の他研究科において開講されている専門科目について、4単位まで修了に必要な専門科目に含めることができる。

## (2) 博士後期課程

## (i) 総合システム科学専攻

種類	授業科目	単位	開講年次(セメスター)・週時間数						必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
			1年次		2年次		3年次		必修	選択	
			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ			
共通基盤科目	ベンチャービジネス特論	2	2							2	選択科目 4単位以上
	ベンチャー企業論	2	2							2	
	実践英語B	2	2							2	
	英語プレゼンテーションB	2		2						2	
	知的所有権論B	2	2							2	
	標準化論B	2		2						2	
	信頼性工学B	2	2							2	
	失敗工学B	2		2						2	
	総合システム科学特別講義	2	2	2	2	2	2	2		2	
	総合システム科学特別研修	2	2	2	2	2	2	2		2	
修了に必要な共通基盤科目の単位数									4	合計 4単位	
学際専門科目	システム設計論 I	2		2						2	必修科目 8単位 選択科目 4単位以上
	システム設計論 II (持続可能社会システム)	2	2							2	
	システム設計演習(防災システム)	2		2						2	
	システム設計演習(高齢化社会対応システム)	2		2						2	
	システム設計演習(生態系システムデザイン)	2		2						2	
	システムシミュレーション	2		2						2	
	材料構造システム論	2	2							2	
	熱流体知能化システム論	2	2							2	
	生体知能化システム論	2	2							2	
	電子システム論	2			2					2	
	情報システム論	2				2				2	
	電子デバイスシステム論	2			2					2	
	建築環境計画論	2	2							2	
	建築構造構成論	2	2							2	
	都市環境制御論	2	2							2	
	システムマネジメント論	2	2							2	
	資源環境システム論	2	2							2	
	博士論文特別研究	8							8		
	修了に必要な専門科目の単位数									8	
修了に必要な単位数の合計									8	8	総合計 16単位

## 備考

修了要件;

修了単位は、16単位以上とする。

共通基盤科目は、選択科目4単位以上を修得。

専門科目は、必修科目8単位を含む12単位以上を修得。

ただし、大学院学則第36条ただし書きに規定する、研究科教授会において、優れた業績を上げた者と認められた者については、研究科が別に定めることができる。

カリキュラム表(平成30年度入学生)

1 システム科学技術研究科

(1) 博士前期課程

1) 機械知能システム学専攻

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目		プレゼンテーション		2		2				2	選択科目 8単位以上
		実践英語A		2	2					2	
		英語プレゼンテーションA		2		2				2	
		風土・文化構造論※		2	2					2	
		科学技術と倫理※		2	2					2	
		感性情報と環境の心理※		2	2					2	
		地域社会と家族※		2		2				2	
		生体情報と運動の生理※		2	2					2	
		フィールドワークA(実践科目)		2	2	2	2	2		2	
		フィールドワークB(実践科目)		2		2	2	2		2	
		知的所有権論A	工業	2	2					2	
		標準化論A	工業	2		2				2	
		信頼性工学A	工業	2	2					2	
		失敗工学A	工業	2		2				2	
		インターンシップ			2	2					
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									8	合計 8単位	
専門科目	材料構造系	固体力学	工業	2	2					2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		先端材料学特論	工業	2	2					2	
		機械構成論	工業	2	2					2	
		超精密加工学	工業	2		2				2	
		応用有限要素解析	工業	2	2					2	
		弾性波動論	工業	2		2				2	
	熱・流体系	熱工学特論	工業	2	2					2	
		流体力学特論	工業	2	2					2	
		プラズマ工学	工業	2		2				2	
		計算力学特論	工業	2	2					2	
		エネルギーシステム学特論	工業	2		2				2	
		燃焼工学	工業	2		2				2	
	生体知能系	制御工学特論	工業	2	2					2	
		ロボット工学特論	工業	2	2					2	
		機械知能学特論	工業	2		2				2	
		三次元CAD運用論	工業	2	2					2	
		知能化機械設計論	工業	2		2				2	
		次世代自動車工学	工業	2		2				2	
		コンピュータビジョン特論	工業	2		2				2	
		バイオエンジニアリング特論	工業	2		2				2	
		メカトロニクス特論	工業	2		2				2	
	その他	高度数値シミュレーション学	工業	2	2					2	
	セミナー・ 研究	機械知能システム学専門セミナー	工業	4	4	4				4	
機械知能システム学特別研究			6						6		
修了に必要な専門科目の単位数									10	12	合計 22単位
修了に必要な単位数の合計									10	20	総合計 30単位

備考 1 修了要件;

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。

フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。

専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。

インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

- 2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

30



2) 電子情報システム学専攻

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目		プレゼンテーション		2		2				2	選択科目 8単位以上
		実践英語A		2	2					2	
		英語プレゼンテーションA		2		2				2	
		風土・文化構造論※		2	2					2	
		科学技術と倫理※		2	2					2	
		感性情報と環境の心理※		2	2					2	
		地域社会と家族※		2		2				2	
		生体情報と運動の生理※		2	2					2	
		フィールドワークA(実践科目)		2	2	2	2	2		2	
		フィールドワークB(実践科目)		2		2	2	2		2	
		知的所有権論A	工業	2	2					2	
		標準化論A	工業	2		2				2	
		信頼性工学A	工業	2	2					2	
		失敗工学A	工業	2		2				2	
		インターンシップ		2	2						
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									8	合計 8単位	
専門科目	電子 システム系	電磁理論特論	工業	2	2					2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		地球電磁環境論	工業	2	2					2	
		環境電磁工学	工業	2	2					2	
		通信システム特論	工業	2		2				2	
		システム制御工学特論	工業	2	2					2	
		エネルギー変換工学特論	工業	2		2				2	
	計測学特論	工業	2	2					2		
	情報 システム系	デジタル信号処理特論	工業	2	2					2	
		音響情報工学	工業	2	2					2	
		音信号処理特論	工業	2		2				2	
		画像情報学特論	工業	2	2					2	
		数値解析学特論	工業	2		2				2	
		情報ネットワーク特論	工業	2		2				2	
		情報数理論	工業	2	2					2	
	自然言語処理	工業	2	2					2		
	電子デバイス システム系	固体物性工学特論	工業	2	2					2	
		半導体材料・プロセス工学	工業	2		2				2	
		光機能デバイス工学	工業	2	2					2	
		電子デバイス工学特論	工業	2		2				2	
	セミナー・ 研究	電子情報システム学専門セミナー	工業	4	4	4			4		
		電子情報システム学特別研究		6					6		
	修了に必要な専門科目の単位数									10	
修了に必要な単位数の合計									10	20	総合計 30単位

備考 1 修了要件;

修了単位は、30単位以上とする。

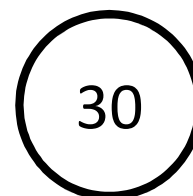
共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。

フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。

専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。

インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。



3) 建築環境システム学専攻

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目	プレゼンテーション			2		2				2	選択科目 8単位以上
	実践英語A			2	2					2	
	英語プレゼンテーションA			2		2				2	
	風土・文化構造論※			2	2					2	
	科学技術と倫理※			2	2					2	
	感性情報と環境の心理※			2	2					2	
	地域社会と家族※			2		2				2	
	生体情報と運動の生理※			2	2					2	
	フィールドワークA(実践科目)			2	2	2		2		2	
	フィールドワークB(実践科目)			2	2	2		2		2	
	知的所有権論A		工業	2	2					2	
	標準化論A		工業	2		2				2	
	信頼性工学A		工業	2	2					2	
	失敗工学A		工業	2		2				2	
	インターンシップ			2	2					2	
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									8	合計 8単位	
専門科目	構造系	地盤工学	工業	2	2					2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		基礎設計論	工業	2		2				2	
		塑性設計学	工業	2	2					2	
		大架構設計論	工業	2		2				2	
		先端材料学	工業	2	2					2	
		木質構造設計論	工業	2		2				2	
		都市防災学	工業	2	2					2	
		都市・建築設計(演習)A	工業	2	2	2	2	2		2	
		都市・建築設計(演習)B		2		2	2	2		2	
	都市・建築設計(演習)C		2			2	2		2		
	計画系	都市計画学	工業	2	2					2	
		都市・建築設計論	工業	2		2				2	
		視環境・色彩計画学	工業	2	2					2	
		環境設計論	工業	2		2				2	
		都市環境論	工業	2		2				2	
		都市・建築史論	工業	2	2					2	
		都市・建築設計(演習)A	工業	(2)	2	2	2	2		(2)	
		都市・建築設計(演習)B		(2)		2	2	2		(2)	
	都市・建築設計(演習)C		(2)			2	2		(2)		
	環境系	視環境・色彩計画学	工業	(2)	2					(2)	
		環境設計論	工業	(2)		2				(2)	
		都市環境論	工業	(2)		2				(2)	
		都市・建築史論	工業	(2)	2					(2)	
		都市防災学	工業	(2)	2					(2)	
		都市・建築設計(演習)A	工業	(2)	2	2	2	2		(2)	
		都市・建築設計(演習)B		(2)		2	2	2		(2)	
		都市・建築設計(演習)C		(2)			2	2		(2)	
	セミナー・ 研究	建築インターンシップ研修A		2	2	2	2	2		2	
		建築インターンシップ研修B		2	2	2	2	2		2	
		建築プロジェクト実習		2		2				2	
		建築環境システム学専門セミナー	工業	4	4	4			4		
		建築環境システム学特別研究		6					6		
	修了に必要な専門科目の単位数									10	
修了に必要な単位数の合計									10	20	総合計 30単位

備考 1 修了要件;

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。

フィールドワークA、B(実践科目)、都市・建築設計(演習)A、B、C、建築インターンシップ研修A、Bについては、A(B)を修得しなければ B(C)を履修できない。

都市・建築設計(演習)A、B、Cについては、同一セメスターでの重複履修を認めない。

建築インターンシップ研修A、Bについては、同一セメスターでの重複履修を認める。

専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。

インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

3 ( )内数字は再掲。

30

4) 経営システム工学専攻

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目		プレゼンテーション		2		2				2	選択科目 8単位以上
		実践英語A		2	2					2	
		英語プレゼンテーションA		2		2				2	
		風土・文化構造論※		2	2					2	
		科学技術と倫理※		2	2					2	
		感性情報と環境の心理※		2	2					2	
		地域社会と家族※		2		2				2	
		生体情報と運動の生理※		2	2					2	
		フィールドワークA(実践科目)		2	2	2	2	2		2	
		フィールドワークB(実践科目)		2		2	2	2		2	
		知的所有権論A	工業	2	2					2	
		標準化論A	工業	2		2				2	
		信頼性工学A	工業	2	2					2	
		失敗工学A	工業	2		2				2	
		インターンシップ		2	2						
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									8	合計 8単位	
専門科目	社会情報 管理系	会計システム論	工業	2		2				2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		応用情報処理特論	工業	2	2					2	
		経営情報システム特論	工業	2		2				2	
		応用確率統計特論	工業	2	2					2	
		経営数理解析特論	工業	2	2					2	
		経営学特論		2		2				2	
	産業環境 管理系	社会経済学特論	工業	2		2				2	
		生産システム特論	工業	2		2				2	
		環境リスク管理技術特論	工業	2	2					2	
		製品技術システム特論	工業	2		2				2	
	実践・セミナー・ 研究	分析化学特論		2	2					2	
		現役社長の講話 I		1		1				1	
		経営改善実践		2	2	2	2	2		2	
		経営システム工学専門セミナー	工業	4	4	4			4		
		経営システム工学特別研究		6					6		
修了に必要な専門科目の単位数									10	12	合計 22単位
修了に必要な単位数の合計									10	20	総合計 30単位

備考 1 修了要件;

- 修了単位は、30単位以上とする。
- 共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。
- フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。
- 専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。
- インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

- 2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

5) 共同ライフサイクルデザイン工学専攻

種類	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択区分・単位数		備考
				1年次		2年次		必修	選択	
				1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎・ 倫理関係 科目	地域産業アントレプレナー論		1		1				1	秋田大学
	プレゼンテーション技法		1		1				1	秋田大学
	理工学英語 I		1	1					1	秋田大学
	理工学英語 II		1	1					1	秋田大学
	Current Topics in Science and Engineering		1		1				1	秋田大学
	インターンシップ I		1	1	1	1	1	1	1	秋田大学
	インターンシップ II		2	2	2	2	2	2	2	秋田大学
	科学技術者倫理特論		1	1					1	秋田大学
	宇宙科学特論		2	2					2	秋田大学
	地震防災特論		2		2				2	秋田大学
	地域防災学特論		2	2					2	秋田大学
	古地震学特論		2		2				2	秋田大学
	地球資源成因論		1	1	1				1	秋田大学
	資源分離精製論		1	1	1				1	秋田大学
	資源化学・資源利用工学		1	1	1				1	秋田大学
	リサイクルシステム設計論		1	1	1				1	秋田大学
	自主プロジェクト I		1	1	1				1	秋田大学
	自主プロジェクト II		2	2	2				2	秋田大学
	国際関係論		1	1					1	秋田大学
	マーケティング論		1	1					1	秋田大学
	ベンチャー起業論		1		1				1	秋田大学
	資源・工業経済論		1	1	1				1	秋田大学
	リスクマネジメント		1	1					1	秋田大学
	技術戦略学		1	1					1	秋田大学
	財務・金融工学		1	1	1				1	秋田大学
	知的財産論		1		1				1	秋田大学
	経営戦略論		1	1					1	秋田大学
	企業行動論		1	1					1	秋田大学
	特許情報活用論		1	1					1	秋田大学
	理工学特論 I		1	1					1	秋田大学
	理工学特論 II		1		1				1	秋田大学
	理工学デザイン		1		1				1	秋田大学
	生命医理工学特論		2	2					2	秋田大学
	医理工連携実践論		1	1					1	秋田大学
	特別認定理工学 プレゼンテーション		※						※	秋田大学
	実践英語A		2	2	2				2	秋田県立大学
	英語プレゼンテーションA		2		2				2	秋田県立大学
	風土・文化構造論※		2	2					2	秋田県立大学
	科学技術と倫理※		2	2					2	秋田県立大学
	感性情報と環境の心理※		2	2					2	秋田県立大学
	地域社会と家族※		2		2				2	秋田県立大学
	生体情報と運動の生理※		2	2					2	秋田県立大学
	フィールドワークA(実践科目)		2	2	2	2	2	2	2	秋田県立大学
	フィールドワークB(実践科目)		2		2	2	2	2	2	秋田県立大学
	知的所有権論A	工業	2	2					2	秋田県立大学
	標準化論A	工業	2		2				2	秋田県立大学
	信頼性工学A	工業	2	2					2	秋田県立大学
失敗工学A	工業	2		2				2	秋田県立大学	
インターンシップ		2	2						秋田県立大学	

専門科目	ライフサイクルデザイン工学基礎		2	2				2		秋田大学	
	熱流体エネルギー移動・変換工学	工業	2		2			2		秋田大学	
	電磁エネルギー変換工学	工業	2	2				2		秋田大学	
	マイクロ加工工学特論	工業	2	2				2		秋田大学	
	先端機能材料科学特論	工業	2		2			2		秋田大学	
	応用物性学	工業	2	2				2		秋田大学	
	ソフトウェアシステム論		2	2				2		秋田大学	
	地球環境分析科学		2		2			2		秋田大学	
	高温物性学		2	2				2		秋田大学	
	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅰ		1		1			1		秋田大学	
	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅱ		1			1		1		秋田大学	
	地域産業論	工業	2		2			2		秋田大学	
	電子デバイス工学	工業	2		2			2		秋田大学	
	通信工学特論Ⅰ		1	1				1		秋田大学	
	通信工学特論Ⅱ		1	1				1		秋田大学	
	電子制御機械工学特論	工業	2		2			2		秋田大学	
	岩盤工学特論Ⅰ	工業	2		2			2		秋田大学	
	資源経済学特論	工業	2		2			2		秋田大学	
	都市システム計画特論	工業	2	2				2		秋田大学	
	ライフサイクルデザイン工学セミナー		2	2	2			2		秋田県立大学	
	ライフサイクルデザイン工学特別研究		8	8	8	8	8	8		秋田県立大学	
	ライフサイクルプランニング基礎	工業	2	2				2		秋田県立大学	
	ライフサイクルアセスメント	工業	2	2				2		秋田県立大学	
	プラズマ工学		2		2			2		秋田県立大学	
	次世代自動車工学	工業	2		2			2		秋田県立大学	
	環境電磁工学	工業	2	2				2		秋田県立大学	
	都市環境論	工業	2		2			2		秋田県立大学	
	ライフサイクルデザイン製品技術論	工業	2		2			2		秋田県立大学	
	環境型生産管理論	工業	2		2			2		秋田県立大学	
	音環境工学	工業	2		2			2		秋田県立大学	
	環境・エネルギー工学	工業	2	2				2		秋田県立大学	
修了に必要な単位数の合計									14	16	総合計 30単位

備考

修了要件;

必修科目14単位、選択科目16単位以上の合計30単位以上を修得すること。なお、選択科目の修得については次のとおりとする。

- ①主指導教員が在籍する大学院で開設する本専攻専門科目から4単位以上修得すること。
- ②副指導教員が在籍する大学院で開設する本専攻科目から8単位以上修得すること。ただし、そのうち6単位以上は専門科目から修得すること。
- ③両大学院の他専攻で修得した科目を4単位まで含めることができる。

- インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。
- フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。
- 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。
- 「特別認定理工学」は秋田大学大学院学則第14条に基づき修得した単位を4単位まで修了に必要な専門科目の単位に含めることができる。なお、当該コースが許可した場合は、本学の他研究科において開講されている専門科目について、4単位まで修了に必要な専門科目に含めることができる。

30

## (2) 博士後期課程

## 総合システム科学専攻

種類	授業科目	単位	開講年次(セメスター)・週時間数						必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
			1年次		2年次		3年次		必修	選択	
			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ			
共通基盤科目	ベンチャービジネス特論	2	2							2	選択科目 4単位以上
	ベンチャー企業論	2	2							2	
	実践英語B	2	2							2	
	英語プレゼンテーションB	2		2						2	
	知的所有権論B	2	2							2	
	標準化論B	2		2						2	
	信頼性工学B	2	2							2	
	失敗工学B	2		2						2	
	総合システム科学特別講義	2	2	2	2	2	2	2		2	
	総合システム科学特別研修	2	2	2	2	2	2	2		2	
修了に必要な共通基盤科目の単位数									4	合計 4単位	
学際専門科目	システム設計論 I	2		2						2	必修科目 8単位 選択科目 4単位以上
	システム設計論 II (持続可能社会システム)	2	2							2	
	システム設計演習 (防災システム)	2		2						2	
	システム設計演習 (高齢化社会対応システム)	2		2						2	
	システム設計演習 (生態系システムデザイン)	2		2						2	
	システムシミュレーション	2		2						2	
	材料構造システム論	2	2							2	
	熱流体知能化システム論	2	2							2	
	生体知能化システム論	2	2							2	
	電子システム論	2			2					2	
	情報システム論	2				2				2	
	電子デバイスシステム論	2			2					2	
	建築環境計画論	2	2							2	
	建築構造構成論	2	2							2	
	都市環境制御論	2	2							2	
	システムマネジメント論	2	2							2	
	資源環境システム論	2	2							2	
	博士論文特別研究	8								8	
修了に必要な専門科目の単位数									8	4	合計 12単位
修了に必要な単位数の合計									8	8	総合計 16単位

## 備考

修了要件;

修了単位は、16単位以上とする。

共通基盤科目は、選択科目4単位以上を修得。

専門科目は、必修科目8単位を含む12単位以上を修得。



カリキュラム表(平成28、29年度以降入学者)

1 システム科学技術研究科

(1) 博士前期課程

1) 機械知能システム学専攻

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目		プレゼンテーション		2		2				2	選択科目 8単位以上
		実践英語A		2	2					2	
		英語プレゼンテーションA		2		2				2	
		風土・文化構造論※		2	2					2	
		科学技術と倫理※		2	2					2	
		感性情報と環境の心理※		2	2					2	
		地域社会と家族※		2		2				2	
		生体情報と運動の生理※		2	2					2	
		フィールドワークA(実践科目)		2	2	2	2	2		2	
		フィールドワークB(実践科目)		2		2	2	2		2	
		知的所有権論A	工業	2	2					2	
		標準化論A	工業	2		2				2	
		信頼性工学A	工業	2	2					2	
		失敗工学A	工業	2		2				2	
	インターンシップ		2	2							
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									8	合計 8単位	
専門科目	材料構造系	固体力学	工業	2	2					2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		先端材料学特論	工業	2	2					2	
		機械構成論	工業	2	2					2	
		超精密加工学	工業	2		2				2	
		応用有限要素解析	工業	2		2				2	
		弾性波動論	工業	2		2				2	
	熱・流体系	熱工学特論	工業	2	2					2	
		流体力学特論	工業	2	2					2	
		プラズマ工学	工業	2		2				2	
		計算力学特論	工業	2	2					2	
		エネルギーシステム学特論	工業	2		2				2	
		燃焼工学	工業	2		2				2	
	生体知能系	制御工学特論	工業	2	2					2	
		ロボット工学特論	工業	2	2					2	
		機械知能学特論	工業	2		2				2	
		三次元CAD運用論	工業	2	2					2	
		知能化機械設計論	工業	2		2				2	
		次世代自動車工学	工業	2		2				2	
		コンピュータビジョン特論	工業	2		2				2	
		バイオエンジニアリング特論	工業	2		2				2	
	その他	メカトロニクス特論	工業	2		2				2	
		高度数値シミュレーション学	工業	2	2					2	
セミナー・ 研究	機械知能システム学専門セミナー	工業	4	4	4			4			
	機械知能システム学特別研究		6					6			
修了に必要な専門科目の単位数									10	12	合計 22単位
修了に必要な単位数の合計									10	20	総合計 30単位

備考 1 修了要件;

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。

フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。

専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。

インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。開講年度はシラバスを参照すること。

カリキュラム表(平成28、29年度以降入学者)

1 システム科学技術研究科

(1) 博士前期課程

2) 電子情報システム学専攻

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目	プレゼンテーション			2		2					選択科目 8単位以上
	実践英語A			2	2					2	
	英語プレゼンテーションA			2		2				2	
	風土・文化構造論※			2	2					2	
	科学技術と倫理※			2	2					2	
	感性情報と環境の心理※			2	2					2	
	地域社会と家族※			2		2				2	
	生体情報と運動の生理※			2	2					2	
	フィールドワークA(実践科目)			2	2	2	2	2		2	
	フィールドワークB(実践科目)			2		2	2	2		2	
	知的所有権論A		工業	2	2					2	
	標準化論A		工業	2		2				2	
	信頼性工学A		工業	2	2					2	
	失敗工学A		工業	2		2				2	
インターンシップ			2	2							
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									8	合計 8単位	
専門科目	電子 システム系	電磁理論特論	工業	2	2					2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		地球電磁環境論	工業	2	2					2	
		環境電磁工学	工業	2	2					2	
		通信システム特論	工業	2		2				2	
		システム制御工学特論	工業	2	2					2	
		エネルギー変換工学特論	工業	2		2				2	
		計測学特論	工業	2	2					2	
	情報 システム系	デジタル信号処理特論	工業	2	2					2	
		音響情報工学	工業	2	2					2	
		音信号処理特論	工業	2		2				2	
		数値解析学特論	工業	2		2				2	
		情報ネットワーク特論	工業	2		2				2	
		計算機アルゴリズム特論	工業	2	2					2	
		情報数理論	工業	2	2					2	
		ソフトウェア方法論	工業	2		2				2	
	電子デバイス システム系	自然言語処理	工業	2	2					2	
		固体物性工学特論	工業	2	2					2	
		半導体材料・プロセス工学	工業	2		2				2	
		光機能デバイス工学	工業	2	2					2	
		電子デバイス工学特論	工業	2		2				2	
	セミナー・ 研究	電子材料特論	工業	2		2				2	
		電子情報システム学専門セミナー	工業	4	4	4			4		
電子情報システム学特別研究			6					6			
修了に必要な専門科目の単位数									10	12	合計 22単位
修了に必要な単位数の合計									10	20	総合計 30単位

備考 1 修了要件:

- 修了単位は、30単位以上とする。
  - 共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。
  - フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。
  - 専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。
  - インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。
- 2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。開講年度はシラバスを参照すること。

カリキュラム表(平成28、29年度以降入学者)

1 システム科学技術研究科

(1) 博士前期課程

3) 建築環境システム学専攻

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セ	2セ	3セ	4セ			
共通基礎 ・学際科目		プレゼンテーション		2		2				2	選択科目 8単位以上
		実践英語A		2	2					2	
		英語プレゼンテーションA		2		2				2	
		風土・文化構造論※		2	2					2	
		科学技術と倫理※		2	2					2	
		感性情報と環境の心理※		2	2					2	
		地域社会と家族※		2		2				2	
		生体情報と運動の生理※		2	2					2	
		フィールドワークA(実践科目)		2	2		2	2		2	
		フィールドワークB(実践科目)		2		2	2	2		2	
		知的所有権論A	工業	2	2					2	
		標準化論A	工業	2		2				2	
		信頼性工学A	工業	2	2					2	
		失敗工学A	工業	2		2				2	
		インターンシップ		2	2						
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									8	合計 8単位	
専門科目	構造系	地盤工学	工業	2	2					2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		基礎設計論	工業	2		2				2	
		塑性設計学	工業	2	2					2	
		大架構設計論	工業	2		2				2	
		先端材料学	工業	2	2					2	
		木質構造設計論	工業	2		2				2	
		都市防災学	工業	2	2					2	
		都市・建築設計(演習)A	工業	2	2	2	2	2		2	
		都市・建築設計(演習)B	工業	2		2	2	2		2	
	都市・建築設計(演習)C	工業	2			2	2		2		
	計画系	都市計画学	工業	2	2					2	
		都市・建築設計論	工業	2		2				2	
		視環境・色彩計画学	工業	2	2					2	
		環境設計論	工業	2		2				2	
		都市環境論	工業	2		2				2	
		都市・建築史論	工業	2	2					2	
		都市・建築設計(演習)A	工業	(2)	2	2	2	2		(2)	
		都市・建築設計(演習)B	工業	(2)		2	2	2		(2)	
		都市・建築設計(演習)C	工業	(2)			2	2		(2)	
	環境系	視環境・色彩計画学	工業	(2)	2					(2)	
		環境設計論	工業	(2)		2				(2)	
		都市環境論	工業	(2)		2				(2)	
		都市・建築史論	工業	(2)	2					(2)	
		都市防災学	工業	(2)	2					(2)	
		都市・建築設計(演習)A	工業	(2)	2	2	2	2		(2)	
		都市・建築設計(演習)B	工業	(2)		2	2	2		(2)	
	都市・建築設計(演習)C	工業	(2)			2	2		(2)		
セミナー・ 研究	建築インターンシップ研修A		2	2	2	2	2		2		
	建築インターンシップ研修B		2	2	2	2	2		2		
	建築プロジェクト実習		2		2				2		
	建築環境システム学専門セミナー	工業	4	4	4			4			
	建築環境システム学特別研究		6						6		
修了に必要な専門科目の単位数									10	12	合計 22単位
修了に必要な単位数の合計									10	20	総合計 30単位

備考 1 修了要件:

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。

フィールドワークA、B(実践科目)、都市・建築設計(演習)A、B、C、建築インターンシップ研修A、Bについては、A(B)を修得しなければB(C)を履修できない。

都市・建築設計(演習)A、B、Cについては、同一セメスターでの重複履修を認めない。

建築インターンシップ研修A、Bについては、同一セメスターでの重複履修を認める。

専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。

インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

- 2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。開講年度はシラバスを参照すること。
- 3 ( )内数字は再掲。

カリキュラム表(平成28、29年度以降入学者)

1 システム科学技術研究科

(1) 博士前期課程

4) 経営システム工学専攻

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目	プレゼンテーション			2		2				2	選択科目 8単位以上
	実践英語A			2	2					2	
	英語プレゼンテーションA			2		2				2	
	風土・文化構造論※			2	2					2	
	科学技術と倫理※			2	2					2	
	感性情報と環境の心理※			2	2					2	
	地域社会と家族※			2		2				2	
	生体情報と運動の生理※			2	2					2	
	フィールドワークA(実践科目)			2	2	2	2	2		2	
	フィールドワークB(実践科目)			2		2	2	2		2	
	知的所有権論A		工業	2	2					2	
	標準化論A		工業	2		2				2	
	信頼性工学A		工業	2	2					2	
	失敗工学A		工業	2		2				2	
	インターンシップ			2	2						
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									8	合計 8単位	
専門科目	産業環境 管理系	応用確率統計特論	工業	2	2					2	必修科目 10単位 選択科目 12単位以上
		経営数理解析特論	工業	2	2					2	
		環境リスク管理技術特論	工業	2	2					2	
		製品技術システム特論	工業	2		2				2	
		生産システム特論	工業	2		2				2	
	社会情報 管理系	社会経済学特論	工業	2		2				2	
		経営情報システム特論	工業	2		2				2	
		会計システム論	工業	2		2				2	
		応用情報処理特論	工業	2	2					2	
		経営学特論		2		2				2	
		現役社長の講話 I		1		1				1	
		経営改善実践		2	2	2	2	2		2	
	セミナー・ 研究	経営システム工学専門セミナー	工業	4	4	4			4		
		経営システム工学特別研究		6					6		
	修了に必要な専門科目の単位数									10	
修了に必要な単位数の合計									10	20	総合計 30単位

備考 1 修了要件:

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目は、選択科目8単位以上を修得。

フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。

専門科目は、必修科目10単位を含む22単位以上を修得。

インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。開講年度はシラバスを参照すること。

カリキュラム表(平成28、29年度以降入学者)

別表第1

1 システム科学技術研究科

(1) 博士前期課程

5) 共同ライフサイクルデザイン工学専攻

種類	授業科目	教職課程の教科	単位	開講セメスター・週時間数				必修選択		備考
				1年次		2年次		必修	選択	
				1	2	3	4			
共通基礎・倫理関係科目	リサイクルプロセス設計特論		2		2				2	秋大開設
	プレゼンテーション技法		1	1					1	
	理工学英語Ⅰ		1	1					1	
	理工学英語Ⅱ		1		1				1	
	理工学英語Ⅲ		1			1			1	
	理工学英語Ⅳ		1				1		1	
	インターンシップⅠ		1	1	1	1	1		1	
	インターンシップⅡ		2	2	2	2	2		2	
	技術者倫理特論		2	2					2	
	科学技術倫理特論		2		2				2	
	地震防災特論		2		2				2	
	地域防災学特論		2	2					2	
	古地震学特論		2		2				2	
	地球資源成因論		1	1					1	
	資源分離精製論		1	1	1				1	
	資源化学・資源利用工学		1	1	1				1	
	リサイクルシステム設計論		1	1	1				1	
	自主プロジェクトⅠ		1	1	1				1	
	自主プロジェクトⅡ		2	2	2				2	
	地域産業アントレプレナー論		1		1				1	
	マーケティング論		1	1					1	
	ベンチャー起業論		1		1				1	
	国際関係論		1	1					1	
	資源・工業経済論		1	1	1				1	
	リスクマネジメント		1	1					1	
	技術戦略学		1	1					1	
	財務・金融工学		1	1	1				1	
	知的財産論		1		1				1	
	経営戦略論		1	1					1	
	企業行動論		1	1					1	
	特許情報活用論		1	1					1	
	理工学デザイン		1		1				1	
	生命医理工学特論		2	2					2	
	医理工連携実践論		1	1					1	
	宇宙科学特論		2	2					2	
	理工学特論Ⅰ		1	1					1	
	理工学特論Ⅱ		1		1				1	
	プレゼンテーション		2		2				2	
	実践英語A		2	2					2	
	英語プレゼンテーションA		2		2				2	
	風土・文化構造論※		2	2					2	
	科学技術と倫理※		2	2					2	
	感性情報と環境の心理※		2	2					2	
	地域社会と家族※		2		2				2	
	生体情報と運動の生理※		2	2					2	
フィールドワークA(実践科目)		2	2	2	2	2		2		
フィールドワークB(実践科目)		2		2	2	2		2		
知的所有権論A	工業	2	2					2		
標準化論A	工業	2		2				2		
信頼性工学A	工業	2	2					2		
失敗工学A	工業	2		2				2		
インターンシップ		2	2							



種類	授業科目	教職課程の教科	単位	開講セメスター・週時間数				必修選択		備考	
				1年次		2年次		必修	選択		
				1	2	3	4				
専門科目	ライフサイクルプランニング基礎	工業	2	2				2		県大開設	
	ライフサイクルデザイン工学基礎		2	2				2		秋大開設	
	ライフサイクルデザイン製品技術論	工業	2		2				2	県大開設	
	環境型生産管理論	工業	2		2				2		
	ライフサイクルアセスメント	工業	2	2					2	秋大開設	
	ライフサイクルデザイン工学特論		2		2				2		
	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅰ		1		1				1		
	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅱ		1			1			1		
	熱流体エネルギー移動・変換工学	工業	2		2				2		
	電磁エネルギー変換工学	工業	2	2					2		
	電子デバイス工学	工業	2		2				2		
	マイクロ加工工学特論	工業	2	2					2		
	電子制御機械工学特論	工業	2		2				2		
	次世代自動車工学	工業	2		2				2		
	音環境工学	工業	2		2				2	県大開設	
	環境電磁工学	工業	2	2					2	秋大開設	
	岩盤工学特論Ⅰ	工業	2		2				2		
	先端機能材料工学特論	工業	2		2				2		
	応用物性学	工業	2	2					2		
	都市環境論	工業	2		2				2	県大開設	
	環境・エネルギー工学	工業	2	2					2	秋大開設	
	地域産業論	工業	2		2				2		
	都市システム計画特論	工業	2	2					2		
	資源経済学特論	工業	2	2					2		
	ライフサイクルデザイン工学セミナー			2	2	2			2		共通開設
	ライフサイクルデザイン工学特別研究		8	8	8	8	8	8	8		
	修了に必要な単位数の合計								14	16	総合計 30単位

備考

修了要件:

必修科目14単位、選択科目16単位以上の合計30単位以上を修得すること。なお、選択科目の修得については次のとおりとする。

- ① 主指導教員が在籍する大学院で開設する本専攻専門科目から4単位以上修得すること。
- ② 副指導教員が在籍する大学院で開設する本専攻科目から8単位以上修得すること。ただし、そのうち6単位以上は専門科目から修得すること。
- ③ 両大学院の他専攻で修得した科目を4単位まで含めることができる。

● インターンシップは自由単位のため、修了要件には含まれない。

● フィールドワークB(実践科目)は、フィールドワークA(実践科目)を修得しなければ履修できない。

● 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。開講年度はシラバスを参照すること。

カリキュラム表(平成28、29年度以降入学者)

(2) 博士後期課程

総合システム科学専攻

種類	授業科目	単位	開講年次(セメスター)・週時間数						必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数		
			1年次		2年次		3年次		必修	選択			
			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ					
共通基盤科目	ベンチャービジネス特論	2	2							2	選択科目 4単位以上		
	ベンチャー企業論	2	2							2			
	実践英語B	2	2							2			
	英語プレゼンテーションB	2		2						2			
	知的所有権論B	2	2							2			
	標準化論B	2		2						2			
	信頼性工学B	2	2							2			
	失敗工学B	2		2						2			
	総合システム科学特別講義	2	2	2	2	2	2	2		2			
	総合システム科学特別研修	2	2	2	2	2	2	2		2			
修了に必要な共通基盤科目の単位数									4	合計 4単位			
学際専門科目	システム設計論 I	2		2						2	必修科目 8単位 選択科目 4単位以上		
	システム設計論 II (持続可能社会システム)	2	2							2			
	システム設計演習(防災システム)	2		2						2			
	システム設計演習(高齢化社会対応システム)	2		2						2			
	システム設計演習(生態系システムデザイン)	2		2						2			
	システムシミュレーション	2		2						2			
	材料構造システム論	2	2							2			
	熱流体知能化システム論	2	2							2			
	生体知能化システム論	2	2							2			
	電子システム論	2			2					2			
	情報システム論	2				2				2			
	電子デバイスシステム論	2			2					2			
	建築環境計画論	2	2							2			
	建築構造構成論	2	2							2			
	都市環境制御論	2	2							2			
	システムマネジメント論	2	2							2			
	資源環境システム論	2	2							2			
	総合システム科学特別研究	8								8			
	修了に必要な専門科目の単位数									8		4	合計 12単位
	修了に必要な単位数の合計									8		8	総合計 16単位

備考 修了要件:

修了単位は、16単位以上とする。

共通基盤科目は、選択科目4単位以上を修得。

専門科目は、必修科目8単位を含む12単位以上を修得。

カリキュラム表(平成27年度入学者)

(2) 博士後期課程

総合システム科学専攻

種類	授業科目	単位	開講年次(セメスター)・週時間数						必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数			
			1年次		2年次		3年次		必修	選択				
			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ						
共通基盤科目	ベンチャービジネス特論	2	2							2	選択科目 4単位以上			
	ベンチャー企業論	2	2							2				
	実践英語B	2	2							2				
	英語プレゼンテーションB	2		2						2				
	知的所有権論B	2	2							2				
	標準化論B	2		2						2				
	信頼性工学B	2	2							2				
	失敗工学B	2		2						2				
	総合システム科学特別講義	2	2	2	2	2	2	2		2				
	総合システム科学特別研修	2	2	2	2	2	2	2		2				
修了に必要な共通基盤科目の単位数									4	合計	4単位			
学際専門科目	システム設計論Ⅰ	2		2						2	必修科目 8単位 選択科目 4単位以上			
	システム設計論Ⅱ(持続可能社会システム)	2	2							2				
	システム設計演習(防災システム)	2		2						2				
	システム設計演習(高齢化社会対応システム)	2		2						2				
	システム設計演習(生態系システムデザイン)	2		2						2				
	システムシミュレーション	2		2						2				
	材料構造システム論	2	2							2				
	熱流体知能化システム論	2	2							2				
	生体知能化システム論	2	2							2				
	電子システム論	2			2					2				
	情報システム論	2				2				2				
	電子デバイスシステム論	2			2					2				
	建築環境計画論	2	2							2				
	建築構造構成論	2	2							2				
	都市環境制御論	2	2							2				
	システムマネジメント論	2	2							2				
	資源環境システム論	2	2							2				
	博士論文課題研究(博士論文)	8								8				
	修了に必要な専門科目の単位数									8		4	合計	12単位
	修了に必要な単位数の合計									8		8	総合計	16単位

備考 修了要件:

修了単位は、16単位以上とする。

共通基盤科目は、選択科目4単位以上を修得。

専門科目は、必修科目8単位を含む12単位以上を修得。